

学会記事

2012年度 聖路加看護学会 理事会中間報告

第1回

- 日時：平成23年11月4日〔金〕18：05～19：15
- 場所：聖路加看護大学2号館 5階ミーティングルーム
- 出席者：理事6名・監事2名・第16回大会長

<審議事項>

1. 山田理事長より各委員会の役割説明がなされた後、各理事の担当（案）決定を行った。構成案どおり承認された。
2. 指名理事として、佐居由美、田代真理、本田晶子の各氏が承認された。
3. 山田理事長より、総会にて議決された2012年度事業計画の説明がなされ、ニュースレターおよび学会誌の発行回数や時期について、確認や提案が出た。
4. 2012年度理事会スケジュール案に関して、資料にしたがい第7回まで決定した（第2回2012年1月20日、第3回3月9日、第4回6月15日、第5回9月14日、第6回9月21日、第7回11月2日）。
5. 資料に基づき山田理事長より説明がなされ、協議の結果、日本看護系学会協議会役員候補者に山田雅子理事長を推薦することとなった。
6. 新入会員の承認および退会希望者報告：2名の入会が承認され、1名の退会希望報告がなされ了承された。
7. 会期変更に伴う役員の任期延長について、山田理事長より会則の確認が行われた上で協議し、今回の役員任期の変更にもなう会則変更は不要と決定した。2012年度の役員任期を1.5年とするということを「申し合わせ事項」として提示し、2012年度総会に諮ることとなった。

<報告事項>

1. 新理事長より挨拶および新理事への委嘱状交付がなされた。
2. 聖路加看護学会第16回学術大会終了報告がなされた。保健医療のグローバル化と看護の専門分化をテーマにして、講演、シンポジウム、一般演題発表がなされた。学会からの研究助成金を使って行われた若手による研究のポスター発表は活発だった。しかし、赤字にはならなかったが学会としての集客には課題が残った。また、合計6万円の寄付が集まり、「きぼうときずな」プロジェクトに寄付した。次回の大会につないでいきたい。例年通り、ニュースレター、学会誌に学術大会の報告を載せる予定。理事らより、バーバラ先生の講演がよかった、プログラムはとてもよかった、テーマがよかったのに参加できず残念だったという感想が出された。
3. 山田理事長より、学会員数が600名に若干満たない事、若い年代の看護師に対する入会案内活動に尽力していること、学会へのコミットを高める必要があり課題であることが説明された。また、学術大会参加者数および学術交流集会数についても、資料に基づき報告がなされた。

第2回

- 日時：平成24年1月20日〔金〕18：15～20：00
- 場所：聖路加看護大学2号館 5階ミーティングルーム
- 出席者：理事10名・監事1名・第17回大会長（＝理事長兼任）

<審議事項>

1. 2012年度聖路加看護学会第1回理事会議事録は承認された。
2. 新入会員の承認および退会希望者報告：7名の入会が承認され、2名の退会希望報告がなされ了承された。
3. 2012年度学術交流集会企画案に関して、松谷理事より資

料をもとに説明がされ、承認された。

4. 会計に関して、会計年度変更にともない、過渡期にあたる今期に専門家（木村吉成税理士事務所 木村吉成税理士）を交えて見直しを行っている旨、山田理事長より報告があった。その後、田代真理理事より、資料の説明があった。各委員会への「口座振込」について提案および意見交換がされ、「各委員会の口座開設」について、木村税理士に再度相談することとなった。また、木村税理士との顧問契約書の内容を確認した旨、山田理事長より報告があり、異議はなく、今後契約することが確認された。
5. 会期変更に伴うスケジュール案について、森理事より資料をもとに説明がなされた。スケジュールをふまえ、各委員会の事業が確認され、以下が決定された。
 - ・ニュースレター：2012年度（2011年10月～2013年3月末日）に、2回発行用の予算であるが、現在の予算にて3回発行が可能であるため、32号を2012年12月に発行する旨、ニュースレター委員会小山理事より提案され承認された。それにともない、2013年度の32号33号合同号は、33号として発行する。
 - ・学会誌：会員サービスに配慮しこれまでの発行間隔を保ち、16巻4号を2013年1月に発行する旨、提案され承認された。2012年度（2011年10月～2013年3月末日）は2号発行予定の予算案（学術大会号を除く）であるため、16巻4号発行費用は繰越金を切り崩し確保する。次回の総会で補正予算を提出する。

<報告事項>

1. 第16回聖路加看護学会学術大会決算報告について、田代真理 slnr16企画委員より資料をもとに説明がされた。
2. 第17回聖路加看護学会学術大会について、山田大会長より資料に基づき進捗報告がなされた。
3. 学会誌編集委員会より、資料をもとに説明がなされた。
 - ・新委員は3名であり、他の委員は前期よりの継続である。
 - ・前期委員会よりの継続案件である諸規程の整備を行っている。
 - ・EBSCO データベース登録手続中である。
4. ニュースレター委員会より、下記の報告があった。
 - ・学会 HP：新規メンバーに更新済み。
 - ・ニュースレター30号発行・発送済み。
 - ・ニュースレター31号の掲載内容は、例年掲載している学術交流集会が今年度未開催のため、助成金による研究実施について原稿依頼（楽しかった点、苦しかった点など）を行った。全7演題採択者より原稿提出があった。興味深い内容であり、今後も同様の企画をしたい旨、報告があった。採択者数をふまえ、掲載内容を検討することとなった。
 - ・委員2名の紹介。
5. 学術交流委員会より、資料に基づき報告がされ、下記の追加説明があった。
 - ・助成金選考委員への委嘱状は学術交流委員会委員長より発行。
 - ・助成金応募締め切りは明日であるが、現時点での応募件数0のため、理事周囲への広報活動の依頼がされた。
6. 高度実践看護開発検討委員会より、資料をもとに説明があった。
7. 庶務より、資料にそって報告がなされた。

第3回

- 日時：平成24年3月9日〔金〕18：05～20：10
- 場所：聖路加看護大学2号館 4階ミーティングルーム
- 出席者：理事9名・監事1名・第17回大会長（＝理事長兼任）

<審議事項>

1. 2012年度聖路加看護学会第2回理事会議事録は、一部修正の上承認された。
2. 新入会員の承認および退会希望者報告：25名の入会が承認され、4名の退会希望報告がなされた承認された。
3. 会期変更に伴うスケジュールに関して前回案を修正した。
 - ・2012年9月の総会：2012年度予算執行中間報告、2013年度事業案・予算案承認を得る。
 - ・2013年9月の総会：2013年度予算執行中間報告、2014年度事業案・予算案承認を得る。
 - ・ニュースレターに関しては4月発行に変更することに決定した。
4. 学会誌編集委員会から、以下の事項について資料に従い説明がなされ、承認された。

①聖路加看護学会編集委員会規程の検討

第4条第2項、委員長は理事が務める、と修正する。

第5条、委員の任期は原則としてを入れる。

②査読ガイドラインの検討

修正点：「2. 査読の基準」から、査読結果の判定に関する後半の文章を「3. 査読の結果」の項を起こして別立てに修正する。

③査読プロセスの検討

査読のフローチャートを図示する予定。査読者2名を選定するのはかなり困難なので9月の評議員会にて、評議員の中から査読委員を委嘱したい旨を説明・依頼することに決定した。

④投稿規程の投稿の際の論文の提出部数の変更

3部（原著の場合4部）という現行をすべて5部とする。

⑤16巻3号（学術大会号）について

学術大会号は庶務が買い取り、年間購読団体には届けられている。学術大会予算で発行しているため、会員には届けていない。

⑥16巻2・4号発刊に伴う補正予算について

2号に関しては、約18万円の追加補正を求めたい。4号発刊に伴う制作費および管理費と合わせ、約100万円の追加補正が承認された。

⑦その他

助成金を得た研究課題は、「原則として、研究成果は本学会誌に投稿する」とあるが、「原則として」を削除し、全研究課題の学会誌への投稿を義務とし学会誌の充実をはかりたい旨、提案があり承認された。

5. 学会誌16巻4号の定期購読団体への対応に関して検討し、他の学会にならい16巻3号を学術大会号（会議録）とし3号と命名しない、16巻4号として1月発刊を考えていた号を3号とする、16巻2号の1冊あたりの発行経費をふまえ、次年度より年間購読は2号分で5,000円とする事が決定した。
6. 会計処理要項（案）について会計理事より資料に基づき説明がなされ、委員会予算執行にともなう会計支出管理について、予算10万円以上の委員会については口座を作り、10万円未満の委員会に関しては直接支払いを行うことが提案され、承認された。なお、「3. 支出管理と会計報告」の最終行の文章が、手元に現金残金があれば、通帳口座に戻し入れしておくという意味か、どういう意味なのか解釈が難しい文章になっているので確認しておく事となった。
7. 名誉会員候補について、検討の結果、2012年度は該当者なしと決まった。

<報告事項>

1. 第17回聖路加看護学会学術大会について、山田大会長より、案内チラシを作成し広報活動を始め、配布した反応はよい感触を得ていること、およびプログラムの説明がなされた。市民公開シンポジウムのみ参加は無料とする予定。ホームページのコンテンツを作成した、学会ホームページとのリンク予定であるとの報告がなされた。
2. 学会誌編集委員会より、資料に基づき委員会開催の報告がなされ、また、なるべくメール会議とし、遠方からの委員の交通費を使わないように節約しているとの説明もなされた。
3. ニュースレター委員会より、31号の校正が終わりまもなく印刷が終了する事、いつも印字されている発行日は3月であったが会費納入のための振込票を同封する関係で4月以降に発送する事が報告された。
4. 学術交流委員会より、資料に基づき学術交流委員メンバー・研究助成選考委員会メンバー決定の報告・研究助成に関する選考の経過と結果が報告された。2月22日に選考会議を開催。応募は5件あったが3件を選考したとのこと。また、学術交流集は学術大会終了後17～18時で開催する、案内チラシをpdfで学会ホームページ・学術大会ホームページの両方で掲載し広報する、7月の学会誌送付時に同封する事も追加する、ということで承認された。
5. 高度実践看護開発検討委員会からは特に報告事項はないとのことであった。
6. 庶務より、資料に基づき報告がなされた。

第4回

- 日時：平成24年6月15日〔金〕18：15～20：00
- 場所：聖路加看護大学2号館 5階ミーティングルーム
- 出席者：理事6名・監事1名・第17回大会長（＝理事長兼任）・第18回大会長

<審議事項>

1. 2012年度聖路加看護学会第3回理事会議事録は、一部修正の上承認された。
2. 新入会員の承認および退会希望者報告：24名の入会が承認され、13名の退会希望報告がなされた承認された。
3. 学会誌編集委員会より資料をもとに説明があり、下記が決定された。
 - ①査読ガイドラインについて
前回理事会にて指摘のあった箇所の修正を行った。
 - ②査読プロセスについて
査読プロセスの公表のためにプロセスを明確化した。査読者2名の判定と担当編集者の査読意見をもとに協議を行うプロセスの理解が容易となるように表現の修正を行い、次回理事会にて検討することとなった。
査読者は論文の種類に関わらず2名とし、査読結果報告の遅延に備えている旨も、あわせて報告された。
 - ③投稿期日の変更について
ライフサポート社との話し合いの結果、投稿期日が変更された。3ヶ月の編集期間を確保する期日となり、それぞれ2ヶ月早く期限を設定し7月発刊分の投稿期限を11月末日、1月発刊分の投稿期限を5月末日とする。HPに訂正とお詫びを掲載する。
4. 会計処理要項（案）について、検討を行った。また、会期が1.5年である今期の学会誌発行（学術大会号を除く3号目）のための補正予算をたてることとなった。
5. 第19回聖路加看護学会学術大会大会長候補者が挙げられ、山田理事長が内諾を得ることとなった。
6. 2012年度総会にむけて、下記資料について山田理事長から説明があり、下記が決定された。
 - ・会期変更に伴うスケジュール案……決定

- ・2013年度聖路加看護学会事業計画案……異議なし
- ・会期変更に伴う役員の任期延長に関する「申し合わせ事項」→文言を平易に修正した。

<報告事項>

1. 第18回聖路加看護学会学術大会のテーマ・プログラムについて、秋元大会長より資料をもとに説明があり、理事からの異議はなく承認された。
 - ・事務局は岡山大学に置く。
 - ・演題査読、群分けなどプログラム関連の作業は岡山大学にて行う。
 - ・参加費：従来の学術大会での参加費を踏襲した。参加費設定に「学生」を追加し、「学生・大学院生 3,000円」とする。
 - ・第17回学術大会にてチラシを配布する旨、山田大会長の了解が得られた。
 - ・学術大会講演集について、下記が確認された。
 - ・表紙デザインは、学術大会号を学会誌として取り扱わないことになったため、これまでとは異なり自由である。
 - ・「第〇回 学術大会講演集」というタイトル、および背表紙のデザインは、これまで通りとする。
2. 第17回聖路加看護学会学術大会について、山田大会長より下記の報告があった。
 - ・演題数：32演題（査読中）
 - ・参加46名申込（200名目標）
 - ・展示4社、広告9社（予定より増）の申し込みあり。
3. 学会誌編集委員会より、資料をもとに投稿論文数と発刊予定について説明があった。
4. 学術交流委員会より、資料をもとに説明があった。
 - ・2011年度助成金：会計報告に不備があった数件に修正を依頼している。
 - ・2010年度助成者の実績状況が説明された。
 - ・学術交流委員会主催学術交流集会（2012年9月22日 岩澤氏）のチラシを学会誌送付に同封する。
5. 高度実践看護開発検討委員会より、資料をもとに説明があった。
 - ・昨年度からの委員のうち、1名の辞退があった。
 - ・「看護ケア技術のリストアップ（一次調査）」のお願い（看保連）について、ヒアリング候補者は領域を特定せず、他の看護系学会理事を務めている近隣の会員を候補とすることとなった。
6. 庶務より、資料をもとに報告がされた。
7. 会計より、資料をもとに報告がされた。
 - ・年会費払込取り扱い票発送：現時点で6割の会員から振込があった。
 - ・決算報告書を公益法人会計書式としたため、総会時に補足説明が必要ではないか、との意見があった。

第5回

- 日時：平成24年9月14日〔金〕18：00～20：00
 - 場所：聖路加看護大学2号館 5階ミーティングルーム
 - 出席者：理事9名・監事2名・第17回大会長（＝理事長兼任）
- #### <審議事項>

1. 2012年度聖路加看護学会第4回理事会議事録は承認された。
2. 新入会員の承認および退会希望者報告：6名の入会が承認された。
3. 2013年度事業計画案は、異議なく承認された。
4. 2012年度補正予算案に関して、学会誌発行の一卷増、および、投稿論文数の当初予定よりの増ページのために補正予算案が組まれた。2011年度の総会にて承認された2012年度予算の項目にて、資料を作成することとなった。
5. 2013年度予算案について、資料をもとに協議された。

- ・会費納入率を90%とし、会費収入を修正することとなった。
- ・会費収入の減に伴い、庶務予算を中心に支出を再検討した。
- ・法人化にむけた項目変更のため、これまで選挙のない年度に積み立ててきた「選挙積立金」が別会計でなくなる。そのため、選挙を実施する年度に、選挙活動費の支出が発生する。
 - 会計が上記をふまえ、予算を修正し次回理事会前に理事にメールにて連絡することとなった。
 - 法人化に向け、繰越金を維持し、健全な予算執行を行っていくことが確認された。
- 6. 2013年度決算承認時期について、今年度予算は2013年3月に決算し、9月総会にて報告する予定であるが、決算承認のための評議員会は開催せず、会計監査を経て、理事・評議員にはメールにて連絡することが確認された（2012年度第4回理事会 資料9-1：会期変更に伴うスケジュール【決定】参照）。
- 7. 総会の進行について、「役員任期延長の承認」は申し合わせ事項のため、報告事項とすることが確認された。

<報告事項>

1. 2014年度第19回学術大会長は、評議員の森田夏実氏が内諾された旨、報告があった。
2. 第17回聖路加看護学会学術大会について、120名の事前申込がある事、講演集は今年度より学会誌の通巻として扱わないため、学術大会事務局から聖路加看護大学図書館へ1冊寄贈される旨、山田大会長より報告があった。
3. 庶務より、資料をもとに会員数等の報告がなされた。また、会期移行期につき役員任期を1.5年とする「申し合わせ事項」文面が報告された。
4. 学会誌編集委員会より、総会用中間報告をもとに活動内容が報告された。また、前期委員からの申し送り懸案事項である EBSCO Publishing 社とのライセンス契約の検討について、学会誌は聖路加看護大学リポジトリにて無料公開されており独占ライセンス契約は難しいため、委員会の独占契約は行わないという結論が報告された。今後も独占契約を行わない旨、本理事会にて確認された。
5. ニュースレター委員会より、総会用中間報告をもとに報告がなされた。また、第2回理事会議事録中のニュースレター発行号数の確認がなされた。
6. 学術交流委員会より、総会用中間報告をもとに報告がなされた。また、学術交流会は、テーマ「看護師特定能力認証制度（案）」から多くの参加者が予想されるため、会場を301教室から講堂に変更することとなった旨、報告された。
7. 高度実践看護開発検討委員会より、総会用中間報告をもとに、会員から寄せられた「看護ケア技術」等について報告された。

第6回

- 日時：平成24年9月21日〔金〕16：30～17：25
 - 場所：聖路加看護大学2号館 5階ミーティングルーム
 - 出席者：理事8名・監事1名・第17回大会長（＝理事長兼任）
- #### <審議事項>

1. 2012年度聖路加看護学会第5回理事会議事録は承認された。
2. ニュースレター32号の発行時期：前回総会では1年半で2つの号を出す予定の事業計画案が承認された。しかし、ニュースレター委員会より予算内で3つの号を発行することが可能との判断から、本年12月に32号を出す計画への変更が提案されていた。ところが再び、委員長より、学会財政の逼迫を強く認識した、掲載を予定できる内容が

乏しい、との理由で、12月発行号は取りやめたいという提案がなされた。理事会としては、この提案を承認することとなった。すなわち、第16回（2011年度）総会承認どおりの計画に戻った。これにともない総会資料の資料6の3、ニュースレターの発行は、第33・34号から→第32・33号に修正することになった。

3. 2012年度補正予算案：予算の補正が必要になったのは学会誌編集委員会の予算であることと、変更点について説明がなされた。第16回（2011年度）総会承認の事業計画では、学会誌を1.5年で2つの号を発刊するというものであったが、本補正予算は3つの号を発刊することへの変更に伴う予算である旨の確認を行った。同時にこれは査読進行中の論文の掲載について空白期間を出来るだけ作らず早く掲載するという会員サービスの維持を重視したことを理由とす

るものであるとの確認もなされた。

4. 2013年度予算案：収支予算案についての説明がなされ、2011年度予算項目から公益法人会計基準項目への変更にもなう名称や内容等の確認を行った。
5. 新入会学会員（入会申込者）審査：1名の入会が承認された。
6. 学術大会講演集寄贈について：Medline, CINAHLを除く6箇所の学会誌寄贈団体に学術大会講演集を送ることになった。

<報告事項>

1. 各担当からの総会資料の修正点について：総会資料として資料Bの4. 報告 に関して修正が加えられた旨の報告があった。